

令和6年度 学力向上に係る効果的な取組事例

「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」

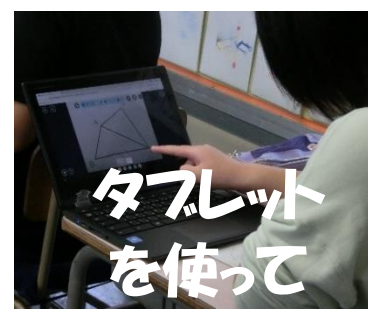
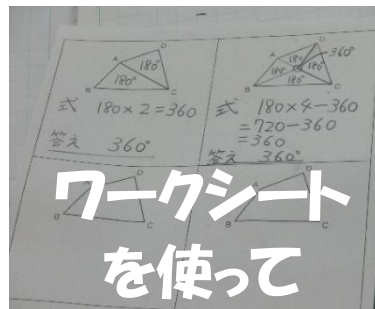
松伏町教育委員会

「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」を目指した取組事例

「考える」の取組

松伏授業プラン		
学習過程	学習活動（児童・生徒）	指導のポイント（教師）
導入 つかむ	○復習問題に取り組み ○既習の学習を想起する 本時の学習の課題（めあて）をノート等に記入する ○今日の学習の見通しをもつ	本時のねらいに迫る適切な課題を示し、板書する ○7分以内で、児童生徒の学習意欲がわき、やってみようと思わせる課題を提示する
展開 考える	自分の考えをもつ（自力解決）【個の学び】 ○自分の考えを明確に示す ○自分でしっかり考える時間を確保する ○一人一人が考えをもてるように、適切に支援をする（ヒントカードの配布、声かけ等） 自分の考えを伝えたり、友達との考えを聞いたりして、自分の考えを深める（協働の学び）【集団の学び】 ○発表（理由）を明確にして話す ○自分の考えと比較しながら友達との考えを聞く ○自分の考えを見直し、修正する	一人で考える場を設定する ○考える視点を明確に示す ○一人で考えをもてるように、手立て（ヒントカード等）を準備する 考えを深める場を設定する ○活動の目的に応じて有効な学習形態（ペア・グループ・4人以内）を活用する ○集団の学びの前に、「何のために集団の学びをするのか」「どのように学ぶのか」を児童生徒に明確に示す ○話し方・聞き方を育て、活発な交流を行わせる ○思考を深める問い返しや言葉かけを行う
まとめ 振り返る	本時の学習の課題（めあて）に沿ったまとめをノート等に記入する ○活用問題に取り組み ○振り返りカード等（発展・基幹）を図る 振り返りを文章で記入する ○学習の課題（めあて）に沿って振り返る ○「何ができるようになったか」「実感する」 ○新たな課題に気づく	本時のねらいに沿ったまとめを板書する ○児童生徒の学習意欲がわき、まとめを促す ○活用問題に取り組み、定着を図る 本時のねらいに沿ったまとめを板書する ○振り返りの時間を設定する ○本時のねらいに沿って振り返りができているかを確認する ○振り返りから家庭学習へつなげていく ○次の学習意欲を喚起する

「指導の個別化」と「学習の個性化」



学習形態の工夫（T・T, 少人数）



ワークシート
を使って

タブレット
を使って

学びの選択

ノートやプリントにも、タブレットにも、それぞれよさがあります。何を使って考えるか、どのように解くかなど、考える方法を自分で選択することで意欲も理解度も高まります。

「深める」の取組

松伏授業プラン		
学習過程	学習活動（児童・生徒）	指導のポイント（教師）
導入 つかむ	○復習問題に取り組み ○既習の学習を想起する 本時の学習の課題（めあて）をノート等に記入する ○今日の学習の見通しをもつ	本時のねらいに迫る適切な課題を示し、板書する ○7分以内で、児童生徒の学習意欲がわき、やってみようと思わせる課題を提示する
展開 考える	自分の考えをもつ（自力解決）【個の学び】 ○自分の考えを明確に示す ○自分でしっかり考える時間を確保する ○一人一人が考えをもてるように、適切に支援をする（ヒントカードの配布、声かけ等） 自分の考えを伝えたり、友達との考えを聞いたりして、自分の考えを深める（協働の学び）【集団の学び】 ○発表（理由）を明確にして話す ○自分の考えと比較しながら友達との考えを聞く ○自分の考えを見直し、修正する	一人で考える場を設定する ○考える視点を明確に示す ○一人で考えをもてるように、手立て（ヒントカード等）を準備する 考えを深める場を設定する ○活動の目的に応じて有効な学習形態（ペア・グループ・4人以内）を活用する ○集団の学びの前に、「何のために集団の学びをするのか」「どのように学ぶのか」を児童生徒に明確に示す ○話し方・聞き方を育て、活発な交流を行わせる ○思考を深める問い返しや言葉かけを行う
まとめ 振り返る	本時の学習の課題（めあて）に沿ったまとめをノート等に記入する ○活用問題に取り組み ○振り返りカード等（発展・基幹）を図る 振り返りを文章で記入する ○学習の課題（めあて）に沿って振り返る ○「何ができるようになったか」「実感する」 ○新たな課題に気づく	本時のねらいに沿ったまとめを板書する ○児童生徒の学習意欲がわき、まとめを促す ○活用問題に取り組み、定着を図る 本時のねらいに沿ったまとめを板書する ○振り返りの時間を設定する ○本時のねらいに沿って振り返りができているかを確認する ○振り返りから家庭学習へつなげていく ○次の学習意欲を喚起する

深める	自分の考えを伝え、友達との考えを聞いて考えを深める（協働の学び）【集団の学び】	考えを深める場を設定する
	○自分の考えを伝える ○根拠（理由）を明確にして話す ○自分の考えと比較しながら友達との考えを聞く ○自分の考えを見直し、修正する	○活動の目的に応じて有効な学習形態（ペア・グループ・4人以内）を活用する ○話し方・聞き方を育て、活発な交流を行わせる ○思考を深める問い返しや言葉かけを行う

友達と話し合ったり、発表したりすることで、思考を深めることができます。「考える」の時間では自力解決できなかった児童生徒も、友達との話合いや発表を聞くことで、自分の考えをもつことができます。図や式を用いて自分の考えを発表できるとよりよい学習につながります。ICTを活用すると、思考を整理したり、考えをまとめたりすることができ、便利です。発表後、友達の意見に質問や感想を伝え合う場面を設けると、全体の理解が深まります。

事例1

○教科名 数学科（中学校第3学年）

○单元名 「〔相似な図形〕形に着目して図形の性質を調べよう」

○身に付けたい力 具体物から相似な図形を見出し、形を簡略化して課題を解決する。

○取組の工夫 数学科における「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」の工夫

単元の導入時に「単元を貫く学習課題」を設定し、その課題に向けて相似な図形に関する知識等を育んだ。学習時は1人やペア、グループといったように学習形態を1つに絞ることなく、生徒一人ひとりが学びの選択ができるように進めた。課題に関わるYoutube（動画）を活用することで、興味・関心を高め、取り組みやすい環境を作った。課題の解決場面では、これまでの既習事項をもとに、まずは個人での思考する時間を設定した。その上で、その後必要に応じてペアやグループで話し合う「協働的な学び」の時間を取り入れた。解決方法はロイロ・ノートを活用し、配布・共有を行うことで、個人や全体の思考が深まる効果的な支援を行うことができた。

ロイロ・ノートによる
ワークシートの配布



事例2

○教科名 算数（小学校第3学年）

○单元名 「小数 数の表し方やしくみを調べよう」

○身に付けたい力 小数のしくみや数の構成に着目し、小数について多様な見方や表し方を考え、表現する。

○取組の工夫 算数科における「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」の工夫

「考える・深める」の場面においてデジタル教科書と学習支援アプリ、電子黒板を活用して、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実を図った。自力解決の場面では学習支援アプリを活用しながら、児童一人ひとりが解き方（数直線、0.1が〇こ分、〇と〇を合わせた数、〇から〇ひいた数）を選択できるようにした。まとめを練り上げる場面においては、直接記入できる電子黒板を活用し、数直線上の数値の見方・考え方を確認したり、学習支援アプリで作成した児童の解法を表示したりしてより思考が深まる協働的な学びにつながるように工夫をした。



事例3

○教科名 体育科（小学校第4学年）

○单元名 「跳び箱運動」

○身に付けたい力 自身の演技を確認し、自己の課題を解決する。

○取組の工夫 体育科における「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」の工夫

それぞれの課題にあった場を選択し、練習が行えるように様々な場を用意した。それぞれの場には、タブレット端末を設置し、「ウゴトル（動画撮影アプリ）」を活用することで、自身の演技を確認することができるようにした。演技と確認を繰り返し行うことで課題が明確になり、演技の上達に繋がった。また、同じ課題をもつ児童同士や、技能の高い友達から動画を見合いながらアドバイスをもらうことで、協働的な学びへ繋がった。授業の最後には、学習支援アプリ「ロイロ・ノート」で、演技の動画をういたふりかえりカードを記入した。毎時間の成果を確認することができるだけでなく、次時への意欲づけや課題設定に繋がった。ふりかえりカードは「提出箱」に保存することで、児童同士で見合うことができ、学び合いに繋げることもできた。

